



おぐら倉

<校訓>
自主
創造
協力



令和4年8月31日(水)発行
校長 栗原博巳
北九州市八幡東区尾倉三丁目10番1号
HP: www.kita9.ed.jp/ogura-j/

<学校教育目標>

豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～

<目指す生徒像>

- ① 感性豊かで、意欲的、主体的に学習する生徒
 - ② 健康で明るく、思いやりのある生徒
 - ③ 礼儀正しく、奉仕の精神に満ちた生徒
- ◇ 元気のいい挨拶・礼儀・身なり・学習規律と集団生活における規律とマナー

北九州市学校保健優良学校「優秀校」に選出！

1 決定内容



学校保健優良学校「優秀校」

2 表彰式について

- (1) 日時 令和4年11月24日(木) 13:30～ 受付開始
- (2) 会場 北九州市立響ホール
〒805-0062 北九州市八幡東区平野 1-1-1 国際村交流センター内
TEL (093) 662-4010

尾倉中学校の保健活動の実績が認められ、このたび、北九州市学校保健優良学校「優秀校」に選出されました。小学校、中学校、特別支援学校、市立高校等の中で、市内で4校だけ選ばれる「北九州市学校保健優良学校」です。

まず、書類選考が行われ、その中で選ばれた学校が、7月28日(木)に北九州市学校保健優良学校表彰審査委員会(小倉北区役所)でプレゼンテーションを行いました。保健室の田中愛理先生が尾倉中学校の保健活動をアピールしてくださいました。その結果、本年度の「優秀校」に選ばれました。学校の保健活動は先生だけが行うものではありません。生徒のみなさんの日ごろの頑張りが認められたと思います。この賞に恥じないように、これからも健康に気を付けて、楽しい学校生活を送りましょう。以下は、取組(田中先生が審査委員会で説明した内容)の概要です。内容は難しいところもあるので、保護者の方と一緒に読んでください。表彰式は11月24日(木)響ホールで行われます。



I 保健組織

(1)学校保健委員会などの活動状況(学校医との連携)

- 新型コロナウイルス感染の陽性者が本校で出た場合、学校医と密に連携を取った。
- 内科検診の中では、成長状態が気になる生徒、保健調査票で気になる生徒について、

学校医に細かく丁寧に診察していただき、個別の指導を行っていただいた。

- 眼科検診の学校医とは、現在の子どもたちの視力低下についての助言をいただいた。
- 消毒の重要性や濃度、使用方法について教示し、教室や学校内の環境衛生に生かした。

(2)生徒の委員会の活動状況(生徒会活動との連携)

- 保健体育委員会では「生徒の健康の保持増進と体力および運動能力の向上を図る」を年間目標に掲げている。健康面と運動面を一体ととらえ、健康で元気な学校生活が送れるように、様々な活動に取り組めるように、以下のような具体的方策で指導している。

【保健的常時活動】☆ 日常の学校生活における保健活動の推進

- 健康観察簿の管理、手洗い場の石鹸(ハンドソープ)、手指消毒用ポンプの管理、体調不良者の保健室の引率、教室の換気の呼びかけや人との距離の呼びかけを行う。
- 授業の前後や共用する道具を使用した後の手洗い消毒の呼びかけ、毎週水曜日はハンカチ爪切り点検等を実施する。

【体育的常時活動】☆ 充実した体育的行事の運営

- 体育授業前の点呼・号令、体育大会やクラスマッチ等体育的行事の運営等を行う。
- スポーツテスト実施後は、自己肯定感を高めたり、体育の授業への意欲を継続させたりするための掲示物を充実させている。

【食育的常時活動】

- 月2回訪問する栄養教諭と連携して、給食訪問指導では学年や実態に応じた食に関する指導を実施してもらい、学校給食を通して「食」の大切さを知ってもらえる機会を設けている。また、給食だよりでも、情報を発信していただいている。
- 給食時間の放送では、栄養バランスの取れた毎日の献立の紹介や地域の文化や伝統に対する理解・関心を深めることができるように、福岡県産や北九州市内産の野菜や郷土料理、行事食等の紹介を行っている。

(3)教職員の保健活動の状況

- 本校の学校教育目標は「豊かな心を持ち、健やかでたくましく行動する生徒の育成～みんなで考え、みんなで取り組み、みんなで作る尾倉中学校～」であり、保健管理については新型コロナウイルス感染症の観点から、今年度も引き続き教職員全体でアンテナを高くして、予防・対策に努めている。
- 生徒の健康・安全に対する意識を向上させるため、毎月の「ほけんだより」では、保健の月行事や検診で使用する物を記載し、自ら読んで準備できるようにしている。また、新型コロナウイルス感染症対策の仕方や本校に合わせた健康課題の記載など、自分自身の身体のことに関心をもてるようにしている。
- 月1回保健室前廊下の掲示板を見直し、保健に関する指導を充実させている。近年、肥満傾向の生徒やむし歯の生徒が増加しているため、ジュースの中の砂糖の量の掲示や歯科検診で校医が使用する記号の意味や睡眠の大切さなどを掲示し、自身の生活を振り返ることができるようにしている。また、熱中症の時期になる前から、その予防や対処法、

現在の気温・暑さ指数などを掲示し、生徒自身が対策できるようにしている。

- 教育委員会から事前に回覧で送られてくる、熱中症や光化学オキシダントなどの情報を毎日の職員朝礼で周知している。また、日頃から生徒のことや学校の環境について気になることがあれば情報共有をし、組織で動ける体制をつくっている。
- 教職員の健康管理は、毎朝職員昇降口で検温・体調を記録し、消毒後、職員室に入ってもらっている。用紙は毎週変えて保健室で一年間保管している。

(4)PTAの保健活動の状況

- 毎年後援会より、熱中症予防対策の一環としてスポーツドリンクの提供を行っている。本年度も中体連夏季大会の前に提供を行い、部活動発足式では、後援会長挨拶を行う。

II 保健管理

(1)生徒の実態把握とその活用(健康観察・健康診断等)

- 毎朝、登校時間に昇降口の前に立ち、新型コロナウイルス感染症予防から消毒を行っている。その際に、生徒の顔をしっかりと見て健康管理をしている。前日に休んでいた生徒に関しても声を掛け、その日の体調の確認をしている。
- 学校全体の危機管理意識を高めるために、「いつ・どこで・どんな時」に怪我や病気が発生したのか記録を取り、職員と共通理解を図っている。また、怪我をした際には、生徒自らが怪我の予防に努めるために、個人に保健指導を行うようにしている。
- 熱中症対策としてお茶の貸し出しを行っている。(基本は部活動まで見越して自らが用意するが、水筒を忘れて飲み終わったりした生徒に関しては貸し出しを行い、後日返却してもらうようにしている。)お茶については、利尿作用が少ない「麦茶」を基本とする。
- 心の相談で保健室に来る生徒に関しては、話を聞き、寄り添うようにしている。何でも話してくれるようにするために、日頃から生徒には積極的に話しかけるように努めている。また、空き時間には授業を見て、違う角度から生徒を見守るように努めている。
- アレルギー対応給食の生徒に関しては、アレルギーの成分が入っている給食の日は教室に行き、配膳されていないかチェックを行っている。全教員に周知徹底するために、職員室のホワイトボードにその日の対象生徒を記入している。
- 除去食に関しては、生徒が自ら配膳室に取りに行き、管理職が手渡しをしている。また代替についても職員室で管理し、本人に手渡しをしている。

(2)環境衛生の維持・向上

- 毎週火曜日に美化委員会主催の「ボランティア清掃」が実施されており、朝8:00~8:15の間、中庭、玄関前の清掃活動を行っている。主体的に参加する生徒が多く、自分たちの学校を自ら綺麗にすることで情操を育む活動にもなっている。小中一貫・連携教育の視点から、皿倉小・地域との合同清掃を2学期に実施する予定である。
- 7月の保健室前掲示物で七夕を飾り、生徒に6月の中旬から願い事を書けるように、保健室前にコーナーを設けた。(学校運営方針の一つである「こころの教育=季節を感じる

ことのできる豊かな心をもつ生徒の育成」

- 保健室内には、名言集を掲示している。体の怪我以外にも心の相談をしに保健室に来る生徒も多くいるので、パワーフレーズを読んで、一つでも心に響く言葉があればと思い掲示している。

(3)安全管理体制

- 各教室や特別教室、部活動で使用する用具を含め安全点検を毎日実施している。
- 放課後や休日の部活動中に外傷が起こる場合もあるため、養護助教諭が不在中でも医療機関へ受診ができるように、職員室と保健室に「病院受診時持参ファイル」を常備している。
- バasketボールリングに関しては、顧問の先生が部活動中にあげる時下げる時の様子を、安全管理をしている。(チェックリストを活用)
- AEDに関しては、毎日欠かさずに点検を行っている。

